



竹内やすひろ

市政報告

ヒットエンドラン通信



第33回全国都市緑化よこはまフェアの開催

100万本の花と緑で横浜を彩る第33回全国都市緑化よこはまフェアが、3月25日に開幕。
 主な会場の「みなとガーデン」は、山下公園・港の見える丘公園・日本大通りなど。「里山ガーデン」は、ズーラシア横に1万㎡の大花壇。テーマは“「歴史と未来の横浜。花と緑の物語」
 6月4日までの72日間の開催です。

全国都市緑化フェアとは

全国都市緑化フェアは、国民ひとり一人が緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、愉しめる知識を深め、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めるための普及啓発事業として、昭和58年(1983年)から毎年、全国各地で開催されている花と緑の祭典です。都市緑化意識の高揚。都市緑化に関する知識の普及。国、地方公共団体、民間の協力による都市緑化の全国的な推進を目的としています。



よこはまフェアの概要

名称	第33回全国都市緑化よこはまフェア
愛称	ガーデンネックレス横浜2017
開催期間	2017年3月25日(土)～6月4日(日)(72日間)
会場構成	みなとガーデン(都心臨海部会場) [山下公園、グランモール公園、港の見える丘公園、横浜公園、日本大通り、象の鼻パーク、新港中央広場、運河パーク] 里山ガーデン(郊外部会場) [横浜動物の森公園植物公園予定地]
主催者	横浜市、公益財団法人 都市緑化機構
運営主体	第33回全国都市緑化よこはまフェア実行委員会
想定来場者数	500万人
開催理念	『歴史と未来の横浜・花と緑の物語』をテーマに、美しい花と緑豊かなまち横浜の実現
開催主体	提唱：国土交通省 主催者：横浜市、公益財団法人都市緑化機構 運営主体：第33回全国都市緑化よこはまフェア実行委員会



横浜市議員
竹内やすひろ (たけうちやすひろ)

神奈川県政務調査事務所
 横浜市神奈川区大口通り127-16コスガビル1F
 TEL: 045-716-6822 FAX: 045-716-6823
 ホームページ <http://takeuchi.180r.com>
 E-mail mail@takeuchi.180r.com



温暖化対策・環境創造・資源循環委員会副委員長
 観光・創造都市・国際戦略特別委員会
 公明党神奈川県本部 幹事長代理
 公明党神奈川支部 支部長
 防災士

公式ホームページ
<http://takeuchi.180r.com>



竹内やすひろ
 facebook

公園を軸に歴史を生かした街づくり

横浜市には、山下公園をはじめ、全国的に有名な公園が多く点在。そして、横浜市は、全国でいち早く公園が整備された都市です。

この度、写真の「横濱の公園」という一冊の小冊子が作成され、3月25日から開催の「第33回全国都市緑化よこはまフェア」会場にて配布されます。この冊子は、地域情報誌「横浜ウォーカー」との連携により、横浜市内の公園や市民の森などが紹介されています。



横浜の公園の歴史

公園の歴史は 1873 年、明治 6 年の太政官布達という政府からの通達がきっかけの事ですが、実は横浜市では、これに先駆けて、すでに公園の整備が始まっていたことが、冊子で紹介されています。

横浜市内で、最も古い公園は、山手の丘に位置する山手公園 1870 年、明治 3 年に、日本初の洋式公園として開園しています。その発端は、1866 年慶応 2 年に日本とイギリスなどの各国との間で調印された「横浜居留地改造及競馬場墓地等約書」で、街づくりの一環として居留地

や墓地、公園などを整備する規定が書かれていたとの事。

この時、山手公園はまだ外国人専用の公園で、当時の日本人には、公園との概念はなく、散歩したり集まったりする場所といえ、もっぱら寺社の境内や城下の広場。その概念を変えたのが山手公園について 1876 年明治 9 年に開園した横浜公園だそうです。まもなく、チュウリップが咲き誇る、横浜スタジアムがあるのが今の横浜公園です。

都市公園の機能

都市公園は、本来、屋外における休息、レクリエーション活動を行う場であり、ヒートアイランド現象の緩和等の都市環境の改善、生物多様性の確保等に大きな効用を発揮する緑地を確保するとともに、地震等災害時における避難地等としての機能を目的とする施設であることから、原則として建築物によって建ぺいされない公共 オープンスペースとしての基本的性格を有するものと都市公園法に定められています。



横浜スタジアムのある横浜公園

新たな時代の都市公園のあり方の検討

新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方の検討が国土交通省で昨今行われています。神奈川区の反町公園における保育園の整備も国家戦略特区としての位置づけで推進が行われているのも、こうした取り組みの一つです。

人口減少・少子高齢化社会におけるオープンスペースの再編と利活用のあり方・都市公園等の配置と機能の再編・子育て分野等との連携による都市公園の機能更新。ストック効用の拡大等、これからのまちづくりに対応した都市公園等のあり方や、都市公園ストックを用いた活力創出の方向性等について検討が始まっています。